

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都中央区銀座六丁目2番1号
大和証券オフィス投資法人
代表者名 執行役員 宮本 聖也
(コード番号：8976)

資産運用会社名
大和リアル・エステート・アセット・マネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 福島 寿雄
問合せ先 コーポレート本部 部長 安住 健太郎
TEL. 03-6215-9649

資産運用会社における組織の変更及び重要な使用人の異動に関するお知らせ

大和証券オフィス投資法人（以下、「本投資法人」といいます。）が資産の運用を委託する資産運用会社である大和リアル・エステート・アセット・マネジメント株式会社（以下、「本資産運用会社」といいます。）は、本日開催の取締役会にて、組織の変更及び重要な使用人の異動について決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 組織の変更

(1) 変更の内容

本資産運用会社は、2022年3月23日開催の取締役会にて、以下の組織変更について決議しました。

本資産運用会社は、上場リートである大和証券オフィス投資法人（DOI）（本投資法人）及び大和証券リビング投資法人（DLI）、私募リートである大和証券レジデンシャル・プライベート投資法人（DRP）、大和証券ホテル・プライベート投資法人（DHP）及び大和証券ロジスティクス・プライベート投資法人（DLP）の5つの投資法人から資産運用業務を受託しており、従前より本投資法人を含む投資法人の資産運用業務における資産運用力及びガバナンスの強化を目的として、資産の取得・処分及び運用に係る機能を同一の投資運用部の下に一元化し、各ファンド業務の独立性が確保しやすい体制を整備してまいりました。

従前、各投資運用部内では、資産の取得及び処分を所管するチームと、期中運用を所管するチームを分けていましたが、今般、DOI投資運用部内のDOI投資チーム及びDOI運用チームをDOI投資運用チームへ、DLI投資運用部内のDLI投資チーム及びDLI運用チームをDLI投資運用チームへ、私募REIT投資運用部内の各投資法人投資チーム及び各投資法人運用チームを各投資法人投資運用チームへそれぞれ統合し、各投資法人における資産取得・運用・売却のプロセスを一元的に同一チームで所管することとし、さらに資産の修繕工事等の計画・管理を行っていたコンストラクション・マネジメント部を分割し、各投資運用部にコンストラクション・マネジメントチームとして配置することで、投資法人毎の機能一元化を一段推進することといたしました。

併せて、物件取得競争力の強化を目的に、投資オリジネーション部及び開発企画室を廃止し、これらの部署が担っていた機能を、本資産運用会社と同じく大和証券グループに属する大和証券リアルティ株式会社（以下「DRT」といいます。）へ移管することといたしました。DRTは本資産運用会社が運用する各投資法人向けのウェアハウジング機能も有する会社であり、これにより、物件情報収集能力の拡大・向上に加え、DRTから本投資法人を含む投資法人向けの物件取得及び将来

大和証券オフィス投資法人

的な投資法人への組入れを企図した物件開発についての取り組みを行ってまいります。

なお、今般、各投資法人の資産管理計画の策定及び変更並びに及び投資方針等を定める運用ガイドラインの策定及び変更を所管する部署を、経営企画部から各投資法人の投資運用部に変更しており、その他業務分掌についても所要の変更を行っています。

(2) 変更日

2022年4月1日

※ 現行及び変更後の組織図については、別紙1をご参照ください。

2. 重要な使用人の異動

役職	就任者 (2022年4月1日付)	退任者 (2022年3月31日付)
コンプライアンス・オフィサー	秋元 正樹	重水 勇一

(注) 新任の重要な使用人の略歴は別紙2のとおりです。

なお、本件に関しては、金融商品取引法、宅地建物取引業法、その他関係法令の規定に従い、必要な届出等の手続を行います。

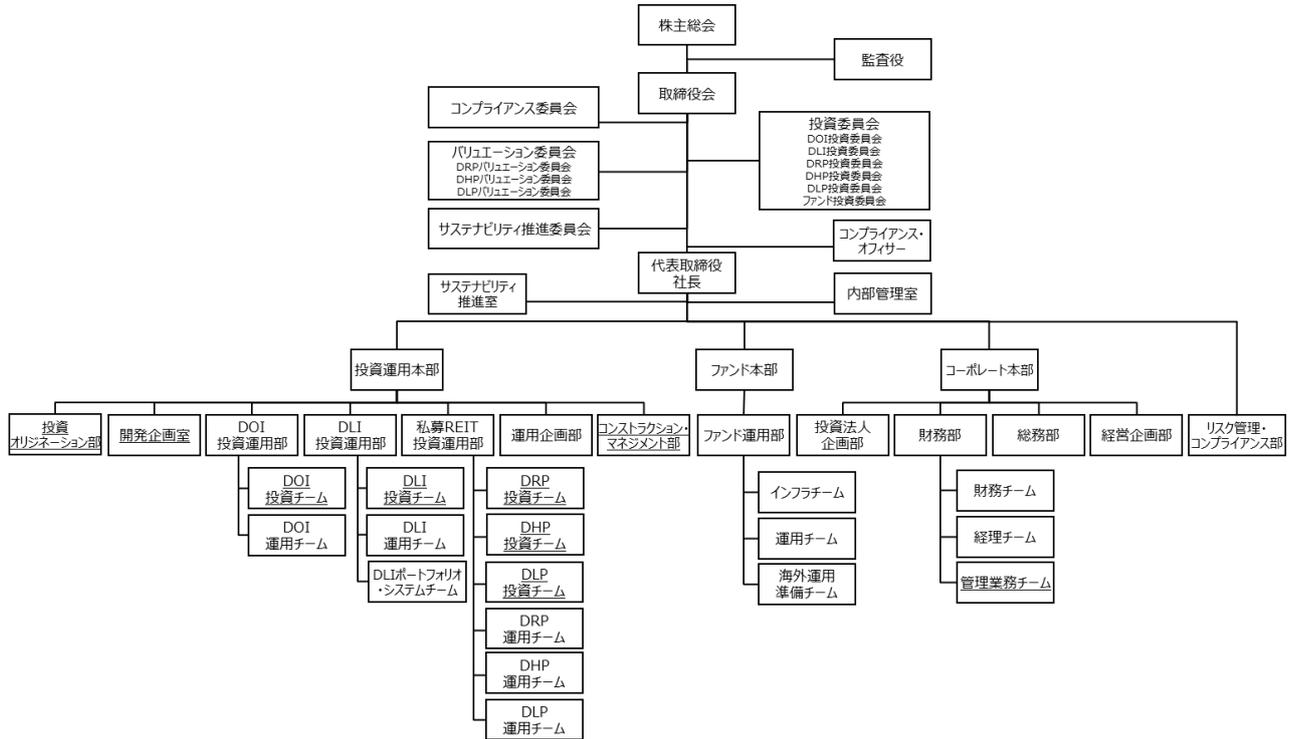
以上

* 本投資法人のホームページアドレス：<https://www.daiwa-office.co.jp/>

【別紙1】

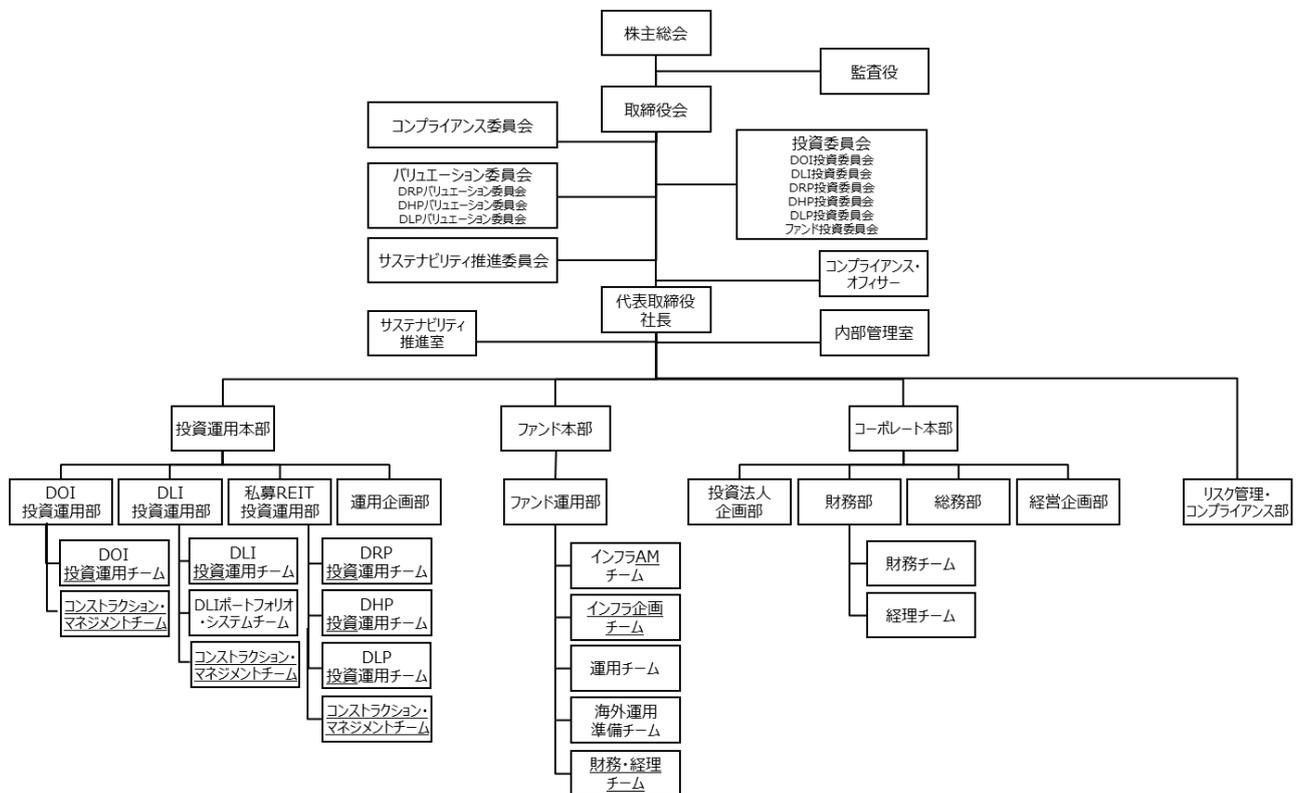
< 現行の組織図 >

(変更箇所は下線部)



< 変更後の組織図 >

(変更箇所は下線部)



【別紙2】

氏 名 (生年月日)	主要略歴	
秋元 正樹 (1965年12月14日)	1989年4月	大和証券株式会社(現 株式会社大和証券グループ本社) 入社
	2002年4月	大和証券エスエムビーシー株式会社(現 大和証券株式会社) 国際金融部
	2010年4月	大和証券キャピタル・マーケット株式会社(現 大和証券株式会社) コンプライアンス部
	2011年7月	株式会社大和証券グループ本社 コンプライアンス部 兼 大和証券株式会社(コンプライアンス部) 出向 兼 大和証券キャピタル・マーケット株式会社(コンプライアンス部) 出向
	2012年4月	大和証券株式会社 コンプライアンス部 兼 株式会社大和証券グループ本社(コンプライアンス部) 出向
	2020年10月	大和証券株式会社 経営企画部付 兼 株式会社大和証券グループ本社より株式会社DG Daiwa Ventures 出向
	2022年4月	大和リアル・エステート・アセット・マネジメント株式会社 コンプライアンス・オフィサー 就任予定

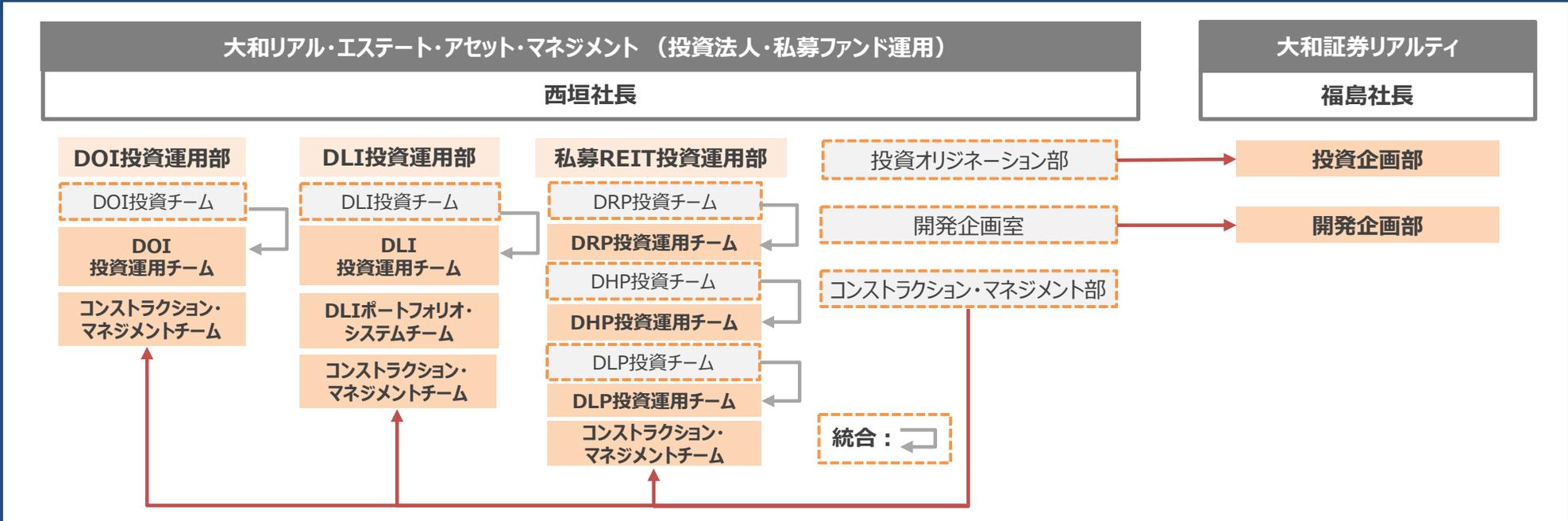
【参考資料】今般の資産運用会社の組織変更等について

趣旨

高度化する物件取得機会対応／投資運用部員の多能工化

- ✓ 各投資法人における物件取得は入替・交換取引、バルクセール、未竣工案件等の高度化する取引への対応力強化
- ✓ 専門メンバーの配置による大和証券リアルティ(DRT)のウェアハウジング機能の強化、柔軟性の向上
- ✓ 投資運用部の権限強化、投資運用部員の多能工化による運用力の向上（業務負荷の均等化、組織の柔軟性、チームワーク強化）

以下の組織変更及び実態に合わせた最適人員配置を行い
各投資法人の外部成長の継続／拡大をはかる



組織変更の概要

- ✓ 投資オリジネーション部、開発企画室の所属メンバーをDRTへ異動
- ✓ 各投資運用部における投資チームと運用チームの統合
- ✓ コンストラクション・マネジメント部所属メンバーを各投資運用部へ配置・統合